

LPG新時代のユニークな情報紙

# 石油ガス・ジャーナル

## 10周年 記念秋号I

毎月第1週には石油ガス関係のデータ記事  
(DATA BANK) を掲載します。

発行所/石油ガス・ジャーナル株式会社  
〒105-0003 東京都港区西新橋1-18-14 宇田川ビル3F  
TEL.03(5157)8336 FAX.03(3581)5554  
<http://www.sekiyugasu-janaru.jp>

10周年秋号I

平成29年(2017年)9月8日 金曜日 第1544号

## FHSネット、パートナー数目標全国100事業所に

—第3回全国大会、新築・リフォーム多様な施設で床暖拡大へ—



内海社長

温水床暖房施工・販売業者のネットワーク組織「FHS(フロアヒーティングシステム)」は1日、熊本市のANAクラウンプラザホテル熊本ニュースカイで、第3回全国大会(テーマ:飛躍元年)を開催し、2018年度パートナー(会員)数100事業所(現在52事業所)を掲げ、温水床暖房の普及促進と全国組織への拡大を誓った。会は主宰するリボンガス㈱の内海久俊社長が熊本地震の概要と教訓、2017年度下期事業方針、温水床暖房をPRするマスメディア等での展開、ネダレス工法対応の温水床暖房施工「スーパー・ホット15」などを説明した。床暖房メーカーの㈱エコミナミの佐藤央社長が「温水床暖房市場 現状分析と今後の展望」、不動産・建築業者のコーワイ㈱の平川隆男社長が「ハウスピルダーから見た、遠赤外線温水床暖房の魅力」を講演した。乾杯の挨拶で㈱クサネンの大曾根社長

は、関西のエネルギー市場、LPガス事業等の対応策などについて言及し、同会の更なる発展を祈念した。本稿は挨拶、講演の中から一部を紹介する。

**内海社長、地震対策には温水床暖房—ガス業界も“多発ストーブ火災”“火気の無い居室”アピールを**

内海社長は「熊本地震では発生時間帯が幸いにして火災件数が少なかった。石油、電気ストーブなどを使用していれば、被害は比較にならない程拡大していた可能性がある」として、「ストーブ火災の統計上の多さと共に、室内には安全性が担保できない火気を置かないよう、周知して欲しい」と呼び掛けた。また、床暖房のメリットを伝えるために始めたフジテレビ系列のレギュラー番組等、同行販売強化月間(9月)、今後の展示会への出展などを紹介。同行販売は、「見込客の段階でも受付ける。メーカーが同行

### 目次

【特集1】FHSネット、パートナー数目標全国100事業所に	1
<b>【ニュース】</b>	
▷「ガスクル緊急保安研修センター」開講	4
▷アストモス新関東エース会、トークコンテ	5
▷パーカス、EJ19機種をリニューアル	6
▷横浜スタジアム2日「パロマナイター」	8
▷「水素・燃料電池車規制検討会」開始	10
▷LPG国家備蓄JGEが484.74ドルで落札	11
▷北海道協、小学校で「LPガス体験教室」	12
▷埼玉県協、「保安推進セミナー」	13
▷8月最終週LPガスハリケーンで高騰	14